

登録番号 第 22146 号

クサファイター®1 キロ粒剤

- 移植後 20 日から使用できる水稲用中期除草剤です。
 特長： ●初期または一発除草剤との組み合わせで使用します。
 ●ノビエからクログワイ等の多年生雑草まで幅広く効果を発揮します。

有効成分	アジメスルフロン・・・0.18% シハロホップブチル（化管法第1種）・・・1.8%	包装	1kg×12
性状	淡灰色細粒	有効年限	4年
毒性	普通物*	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用雑草の範囲及び使用方法】

2013年04月24日付内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(東北) ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ コウキヤガラ(北陸を除く) シズイ(東北) ヒルムシロ セリ(九州を除く)	移植後 20 日～ ルビエ 3.5 葉期 ただし、 収穫 30 日前まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg/10a	1回	湛水散布	全域(北海道を除く)の普通期 及び早期栽培 地帯

アジメスルフロンを含む農薬の総使用回数	シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数
1回	3回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ（東北、北陸、近畿・中国・四国）、ウリカワ（九州を除く）は3葉期まで、ミズガヤツリ（関東・東山・東海、九州）、ウリカワ（九州）は4葉期まで、クログワイは生育期（草丈20cm以下）まで、オモダカは広線形葉4葉期まで、コウキヤガラは生育期（草丈10～15cm）まで、シズイは草丈10cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期までが本剤の散布適期である。
- クログワイ（関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州）、オモダカは、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせで使用すること。クログワイ（東北、北陸、近畿・中国・四国、九州）、オモダカ（九州）、コウキヤガラは、有効な前処理剤と組み合わせで使用すること。また、クログワイ、オモダカに有効な後処理剤と組み合わせると連年施用することにより、さらに効果が向上する。
- 苗の植付けが均一となるように代かきを丁寧に行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧に行うこと。

- (5) 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～5日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、止水期間中の入水は静かに行うこと。
- (6) 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用し、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布すること。
- (7) 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - 1) 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
 - 2) 軟弱な苗を移植した水田
 - 3) 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
 - 4) 稲の根が露出している水田
- (8) 本剤はその殺草特性から、とうもろこし、食用びえ、ソルガム等のイネ科作物の生育を阻害するおそれがあるので、散布田の水田水をこれら作物に灌水しないようにすること。
- (9) 空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- (10) 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。
- (11) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法-----

- (1) 誤食などのないよう注意すること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさげ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。